

2025（令和7）年度卒業時アンケート

2026（令和8）年4月6日発行

獨協医科大学 教学 I R センター

2025（令和7）年度卒業時アンケート実施概要

- | | |
|-------------|--|
| 1. 実施名称 | 2025（令和7）年度卒業時アンケート |
| 2. 実施目的 | 本学の教育満足度、教育全体を通じて身についた能力、本学の施設・設備の満足度、学生生活の経験、実社会において必要と考える能力、今後本学の教育や学生支援に期待すること、生涯学習に関して本学に期待すること等について卒業時における現状を把握するとともに本学の教育改善の参考資料とする。 |
| 3. 実施対象者 | 2025（令和7）年度卒業生 112名 |
| 4. 実施期間 | 2026（令和8）1月26日 |
| 5. 実施方法 | Web アンケート方式
医師国家試験受験票配付説明会の一部時間を使用し、パソコン教室で一斉実施する。
未入力者がいれば、メールでの回答を促す。 |
| 6. 回収数（回収率） | 回答数 112名 / 卒業者数 112名（100%） |
| 7. 実施母体 | 獨協医科大学教学 I R センター医学教育点検推進室
山岸 秀嗣 |
| 8. 協力 | 教学 I R センター事務室・教務課 |
| 9. データ管理等 | 得られたデータは、個人名が特定されない形で、教学 I R センターが管理するデータベースに保管する。データは、個人名が特定されない形で、報告書や獨協医科大学教学 I R センターのウェブページなどで公表する。収集した個人情報、教学 I R センターにて適切に管理し、紛失や漏洩などが発生しないよう積極的な安全対策を実施する。また、本人の同意がなければ第三者に個人情報を提供しない。 |

2025（令和7）年度卒業時アンケート結果について

2026年1月26日に令和7年度卒業生112名に対して卒業時アンケート調査を実施いたしました。今回の調査も教学IRセンターが主体となり実施・分析を行いました。本調査にご協力を頂きました学生の皆さま、ならびに教務課をはじめとする関係各位に心から感謝申し上げます。今回の調査も、前年同様にオンライン上のフォームに回答する方式で実施し、100%の回答率を得ることが出来ました。

本調査では、学修成果に関しては「かなり身についた」「ある程度身についた」とする肯定的回答が多数を占め、基礎医学知識、臨床推論、診療技能、医療安全、倫理観、コミュニケーション能力といった医師に求められる基本的能力は概ね達成されていることが示されました。特にプロフェッショナリズムや対人関係能力に関しては高い評価が得られており、本学の教育理念である「学問を通じての人間形成」は一定の成果を上げていると考えられます。一方で、自由記述からは、基礎医学と臨床医学の接続の弱さや、学習内容の目的・到達目標の不明確さ、講義の質のばらつき、試験偏重の教育設計など、教育方法・カリキュラム構造に関する課題が指摘されています。また、語学や研究能力、国際性といった領域では、能力獲得の実感が相対的に低く、今後の改善が求められます。

学生生活に関しては、部活動や臨床実習、研究活動、人間関係の構築といった側面において高い満足度が示され、特に実習や研究室配属などの実践的学習機会が学生の成長に大きく寄与していることが明らかとなりました。しかしながら、自習室や図書館などの学習環境の不足、国家試験対策における大学支援と学生の実態との乖離、成績不振者への支援不足、教務運営における説明不足や学生意見の反映の不十分さなど、学習支援体制および組織運営に関する課題も多く指摘されています。

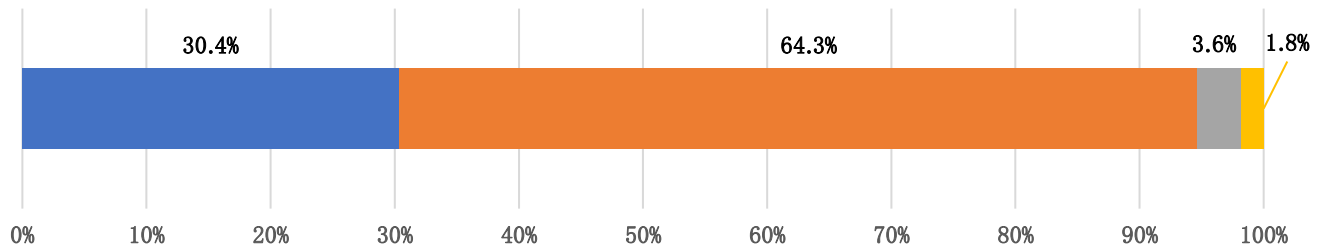
以上より、本学の教育は基盤的能力の育成および人的成長の機会提供において一定の成果を上げている一方で、カリキュラムの統合性、教育方法の質保証、学修支援および学習環境の更なる整備が望まれます。今後は、教学IRの分析結果を活用し、教育内容・方法・評価・支援体制を一体的に見直すことで、学生の学修成果のさらなる向上と満足度の改善を図ることを望みます。

2025（令和7）年度卒業時アンケート結果詳細

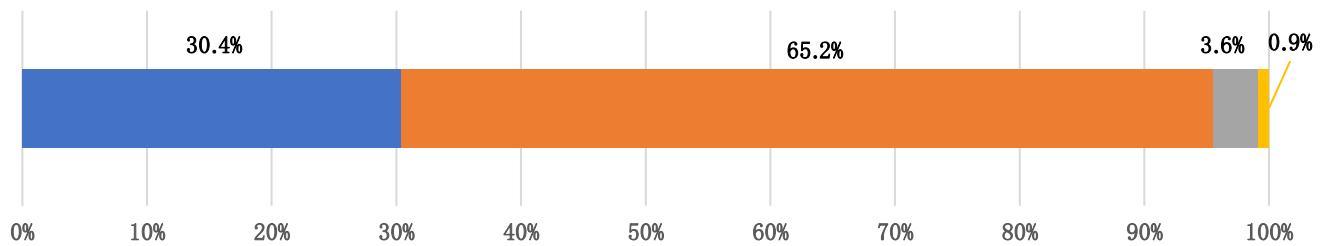
問．以下の項目は、本学医学部の学修成果（アウトカム）です。それぞれの能力をどのくらい身につけることができましたか。

■ かなり身についた ■ ある程度身についた ■ あまり身につかなかった ■ 全く身につかなかった

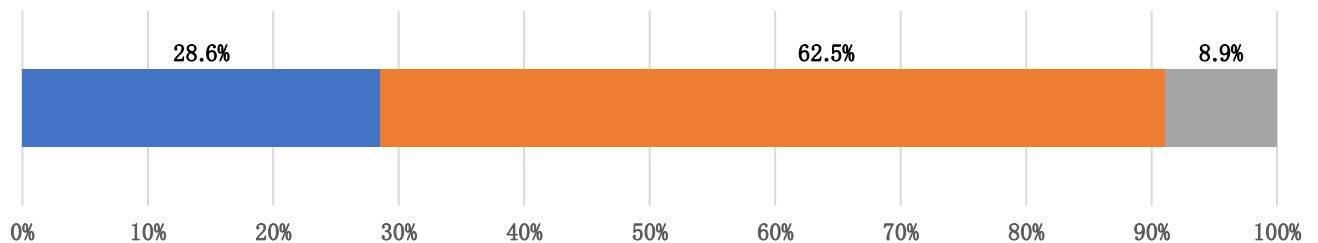
- 人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。



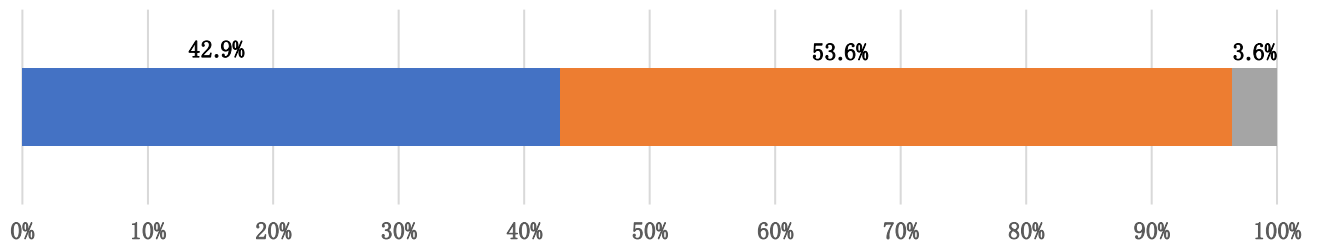
- 種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。



- 卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。

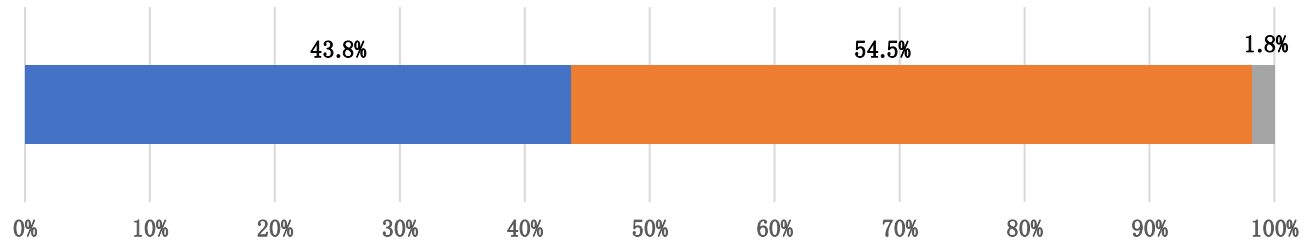


- 医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。

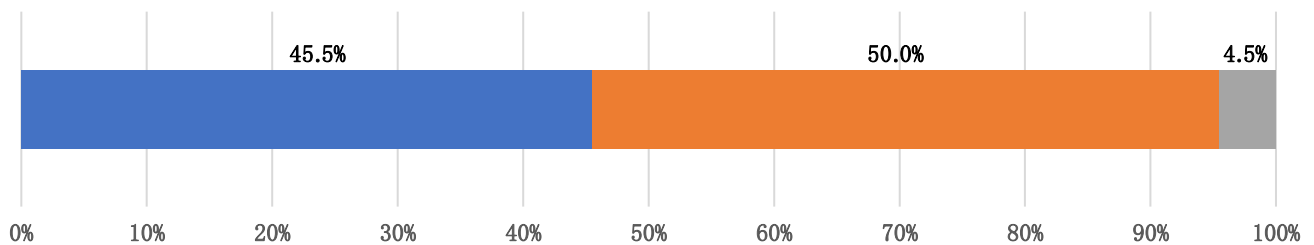


■ かなり身についた ■ ある程度身についた ■ あまり身につかなかった ■ 全く身につかなかった

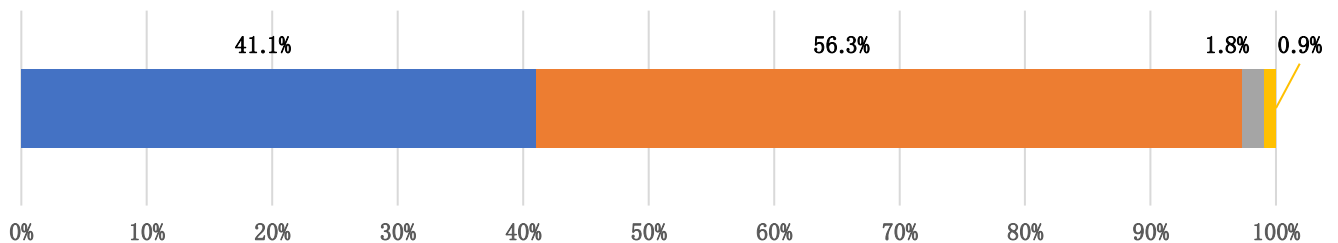
- 医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。



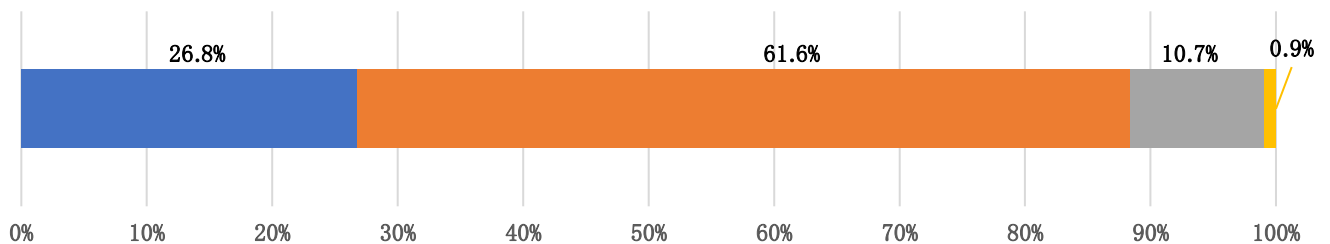
- 医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。



- 医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。

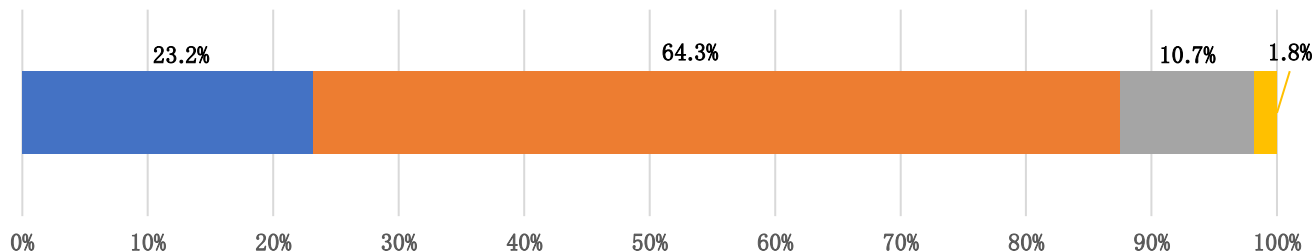


- 書籍や種々の資料、情報通信技術〈ICT〉などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。

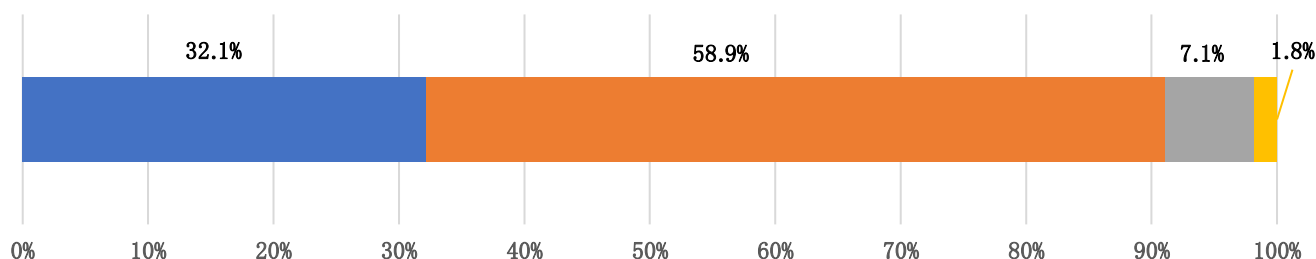


■ かなり身についた ■ ある程度身についた ■ あまり身につかなかった ■ 全く身につかなかった

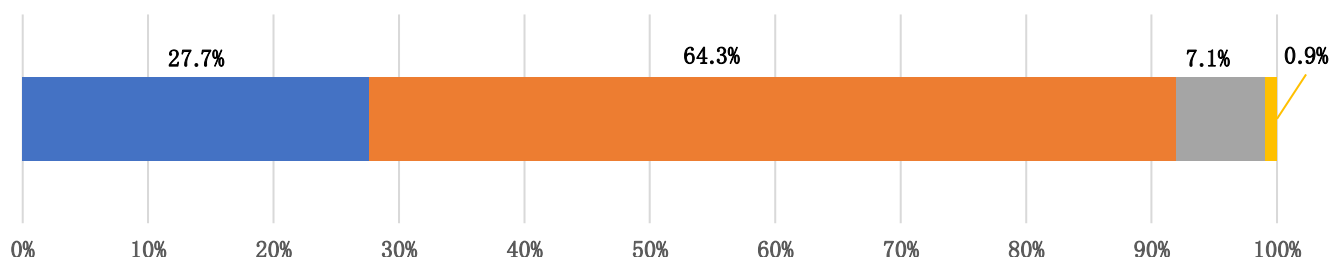
●最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。



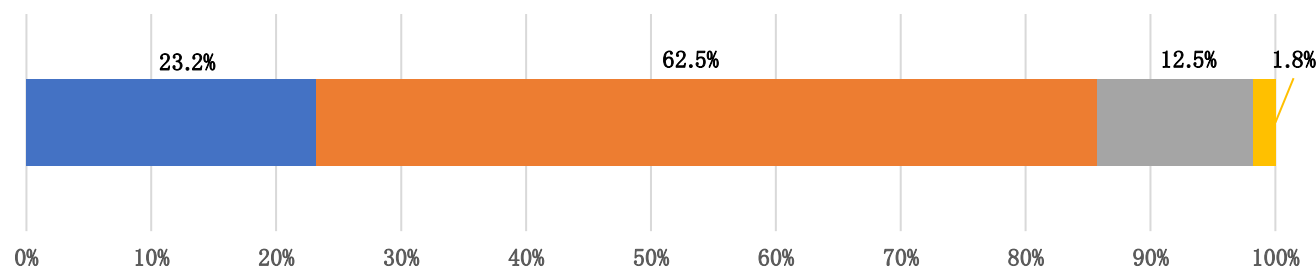
●自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。



●保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。

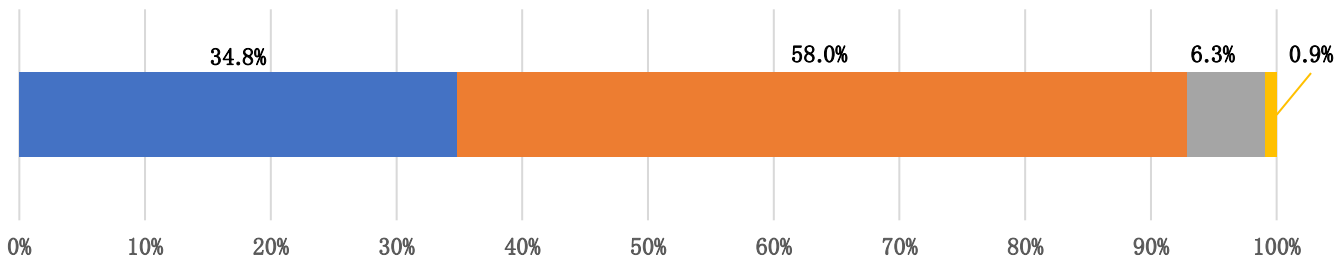


●医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。

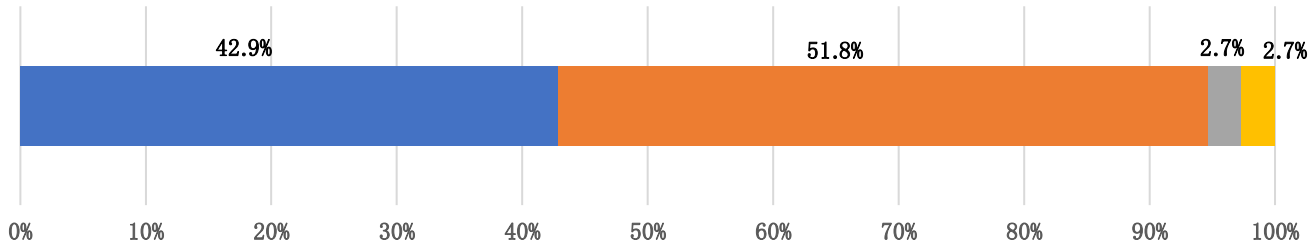


■かなり身についた ■ある程度身についた ■あまり身につかなかった ■全く身につかなかった

●医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。



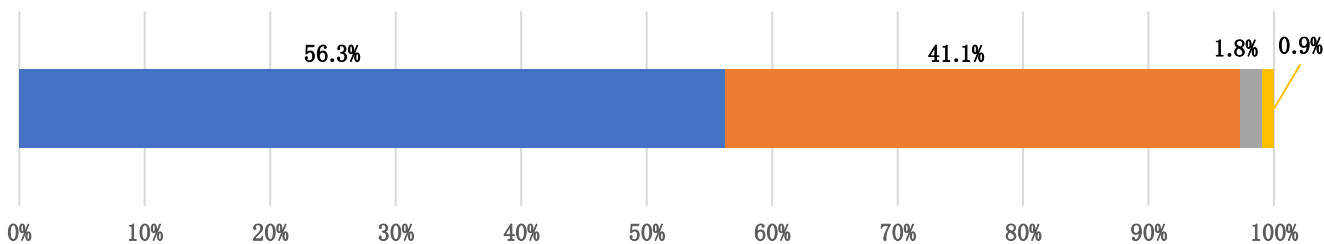
●多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。



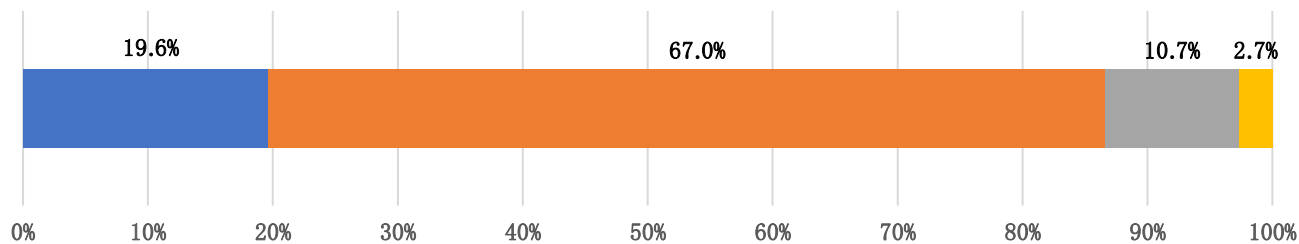
問． 獨協医科大学での授業や活動を通して、以下の能力を身に付けることはできましたか。

■かなり身に付いた ■ある程度身についた ■あまり身につかなかった ■全く身に付かなかった

●医師としての倫理観

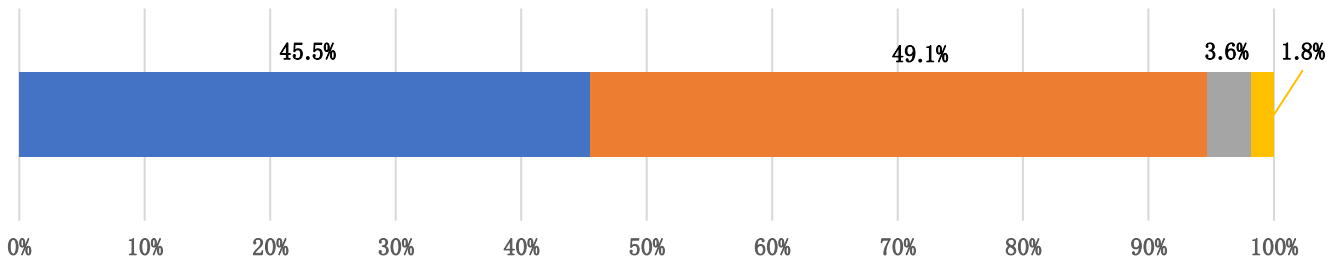


●集団をまとめるリーダーシップの能力

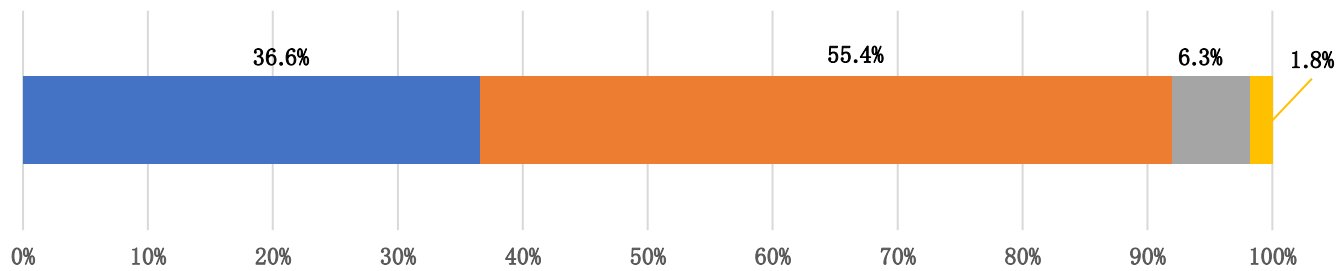




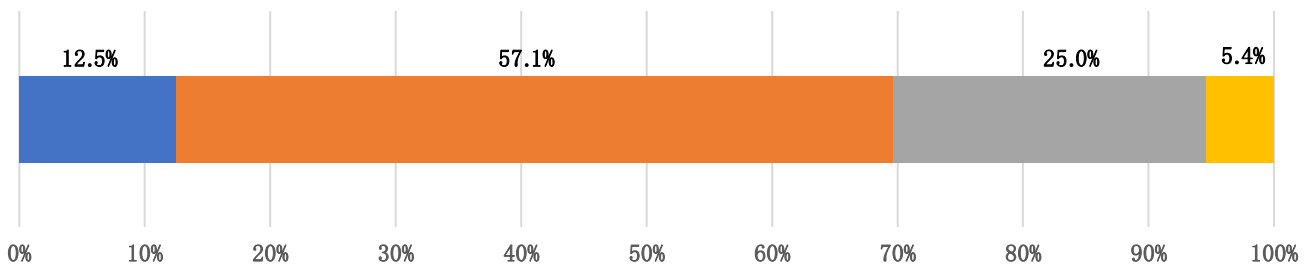
● 豊かな教養や人間性



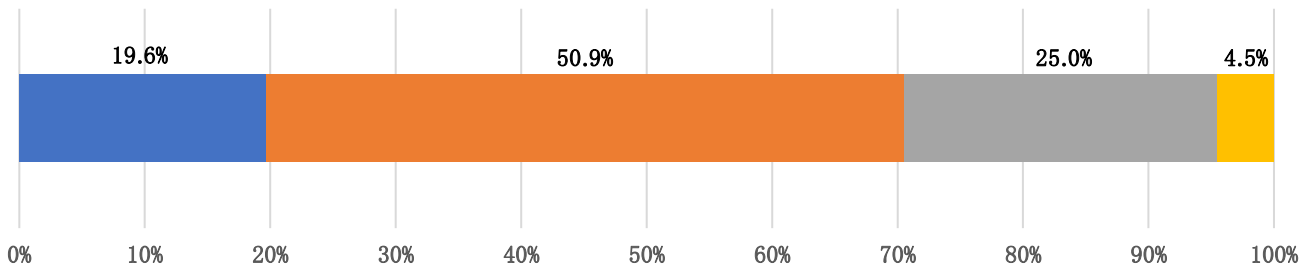
● 自分の意見を筋道立てて表現する能力



● 語学などの国際化への対応能力

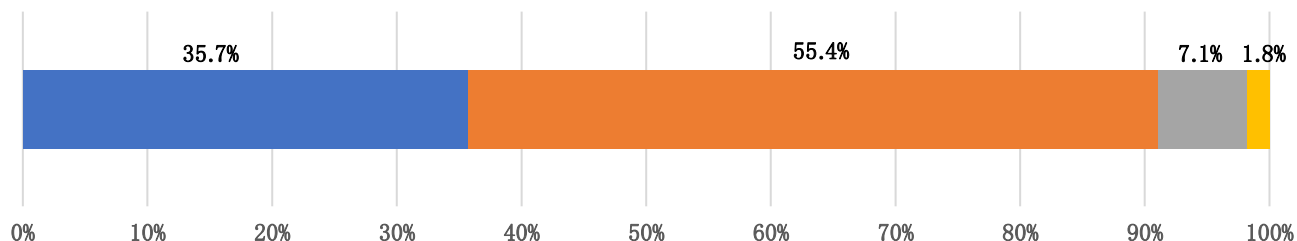


● 医学研究を行う能力



■ 非常にそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない

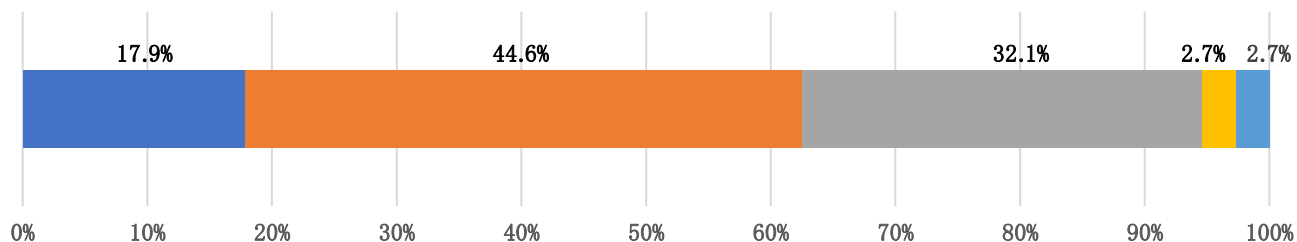
問． 6年間の教育プログラムは、本学の建学の精神である「学問を通じての人間形成」にあったものでしたか。



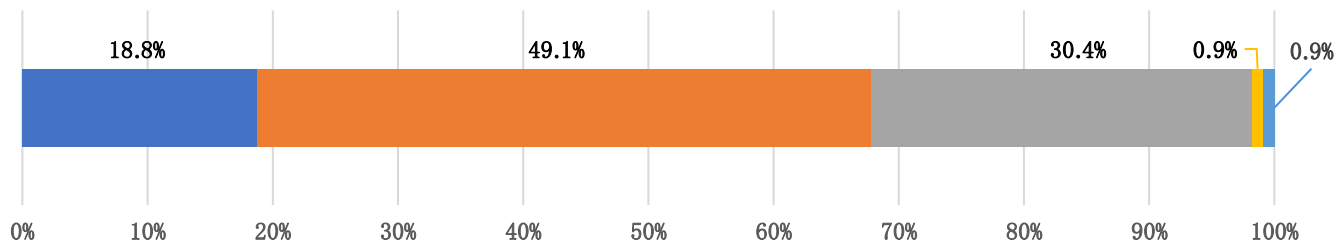
問． 獨協医科大学で教育を受けた次の科目に満足できましたか。

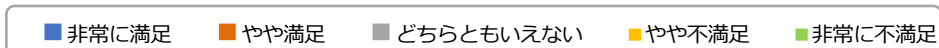
■ 非常に満足 ■ やや満足 ■ どちらともいえない ■ やや不満足 ■ 非常に不満足

問． 獨協医科大学で教育を受けた「基本医学教育科目（物理・化学・生物・数学、など）」に満足できましたか。

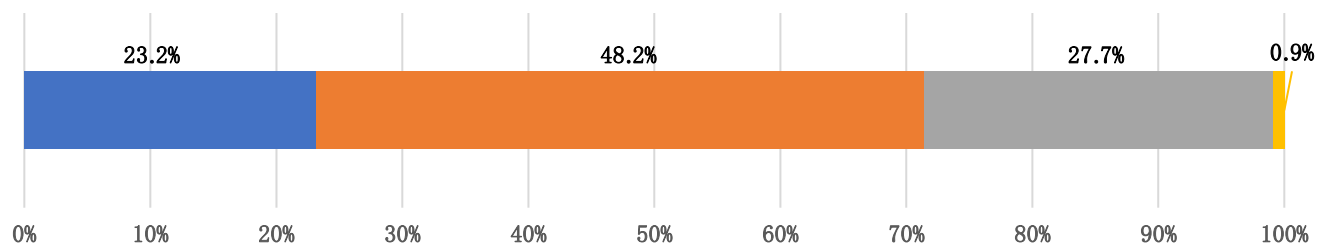


問． 獨協医科大学で教育を受けた「語学教育科目」に満足できましたか。

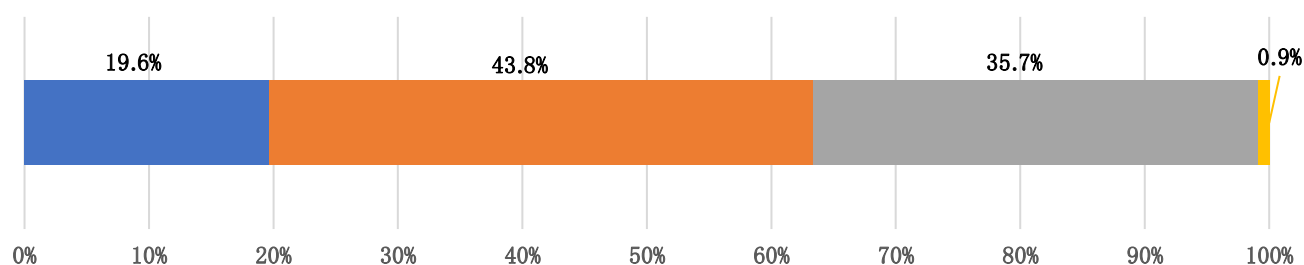




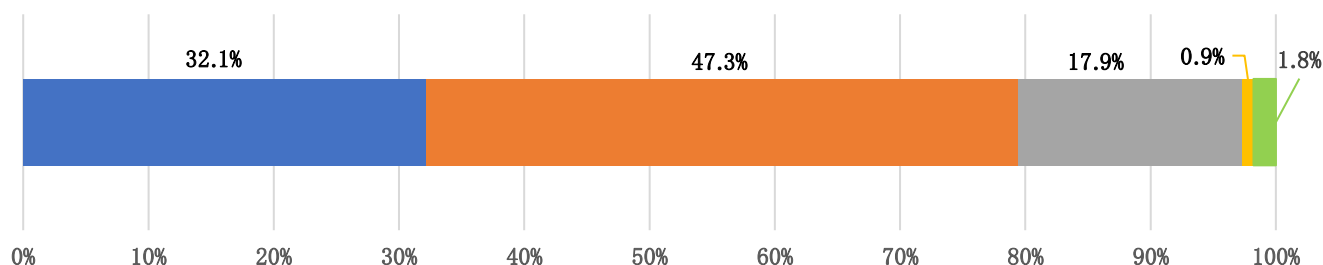
問．獨協医科大学で教育を受けた「ヒューマンズム教育（地域医療早期体験実習、地域医療学、臨床からの学問のすゝめ、など）」に満足できましたか。



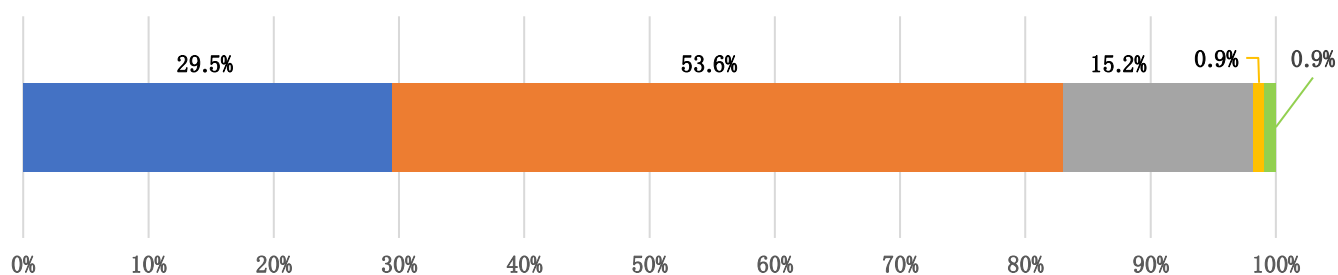
問．獨協医科大学で教育を受けた「少人数教育（PBLテュートリアル、など）」に満足できましたか。



問．獨協医科大学で教育を受けた「基礎医学教育（解剖、生理学、生化学、病理学、薬理学、公衆衛生学、など）」に満足できましたか。

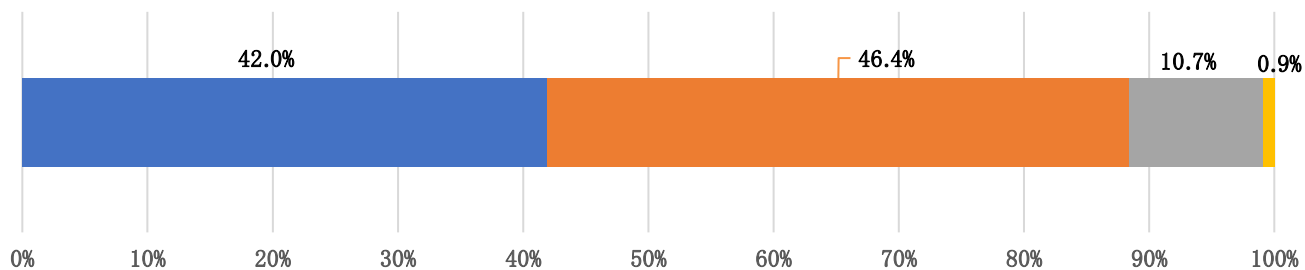


問．獨協医科大学で教育を受けた「臨床医学教育」に満足できましたか。

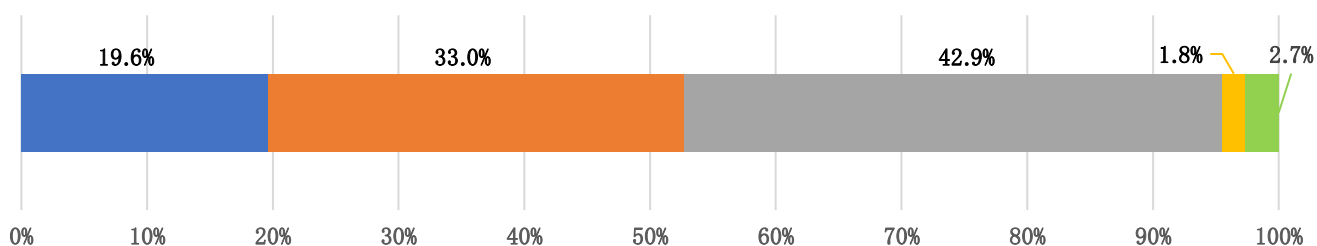


■非常に満足 ■やや満足 ■どちらともいえない ■やや不満足 ■非常に不満足

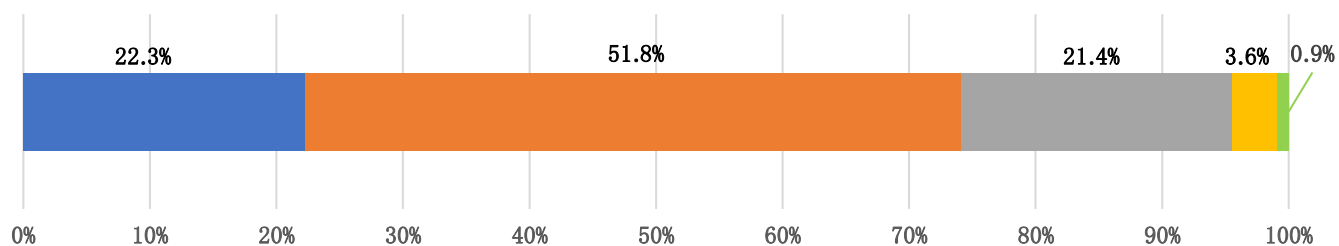
問． 獨協医科大学で教育を受けた「臨床実習教育（CC、ACC）」に満足できましたか。



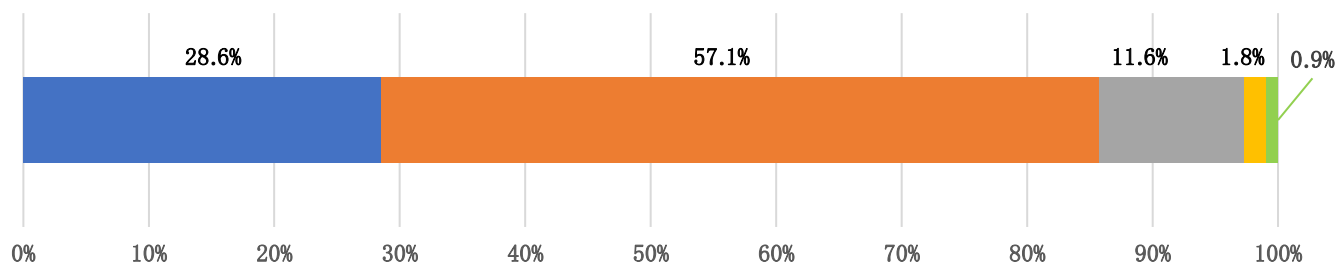
問． 獨協医科大学で教育を受けた「メディカル・プロフェッショナリズム教育」に満足できましたか。



問． 獨協医科大学で教育を受けた「国家試験対策」に満足できましたか。

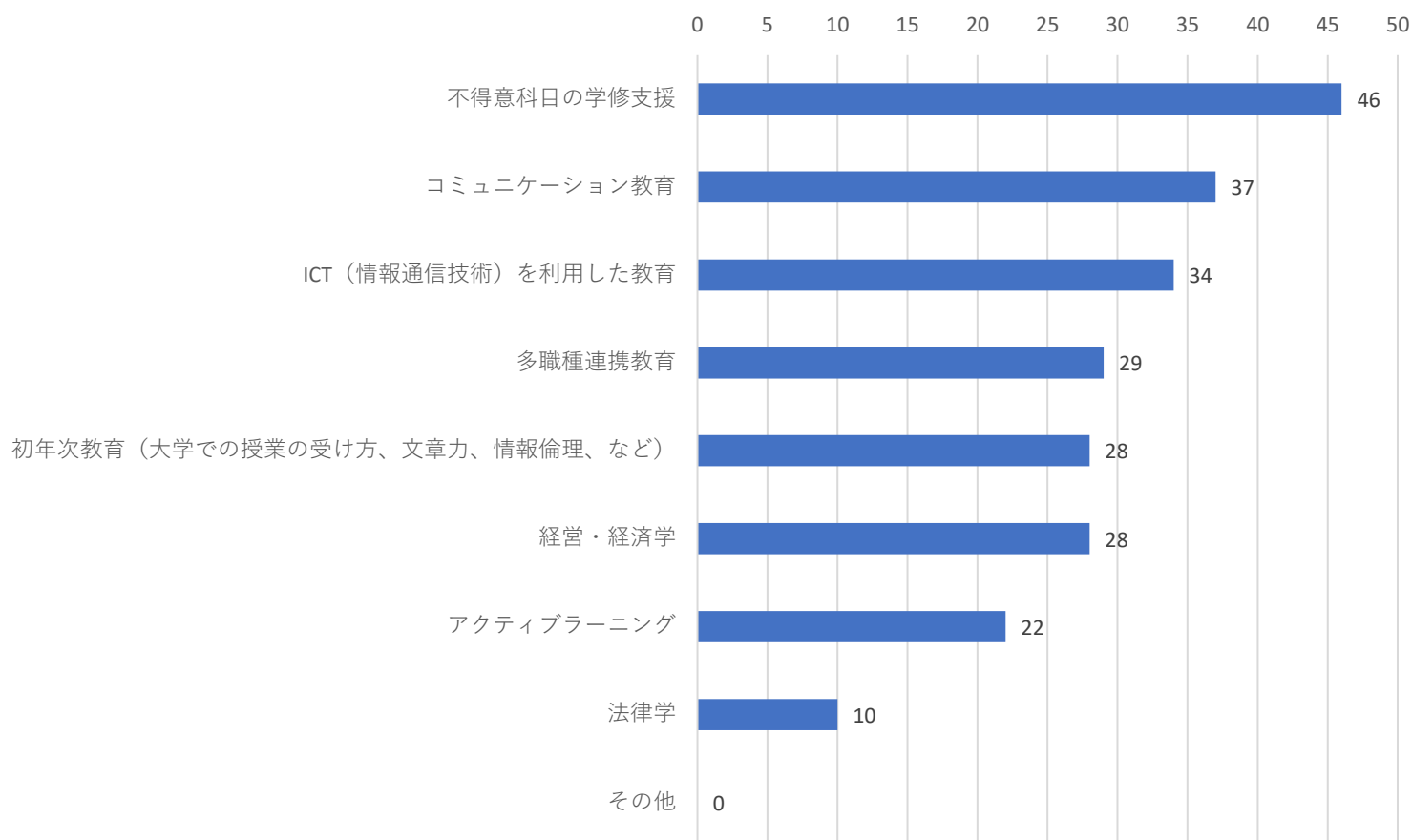


問． あなたの学修において、6年間のカリキュラム構成は適切でしたか。

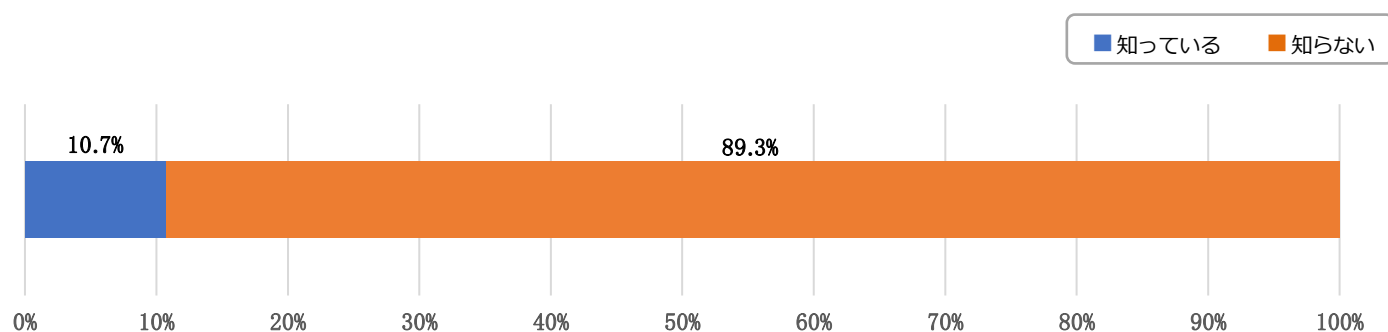


問． 今後どの様な教育を充実させるのが望ましいと思いますか。望ましいと思うものを選んでください。

(複数回答可) (人)



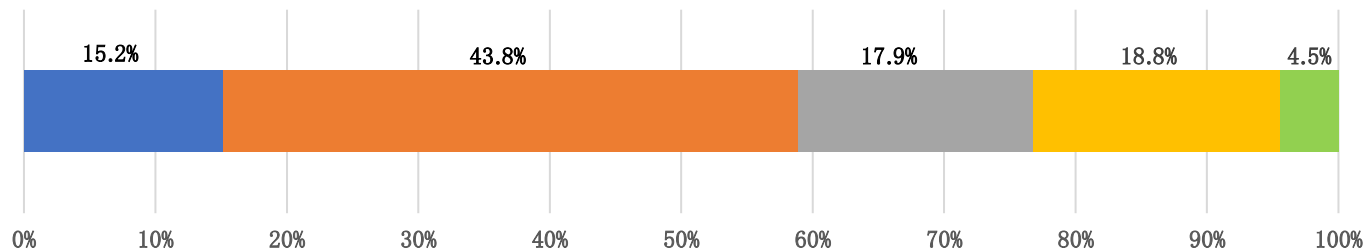
問． あなたは、ミッションカードの存在を知っていますか。



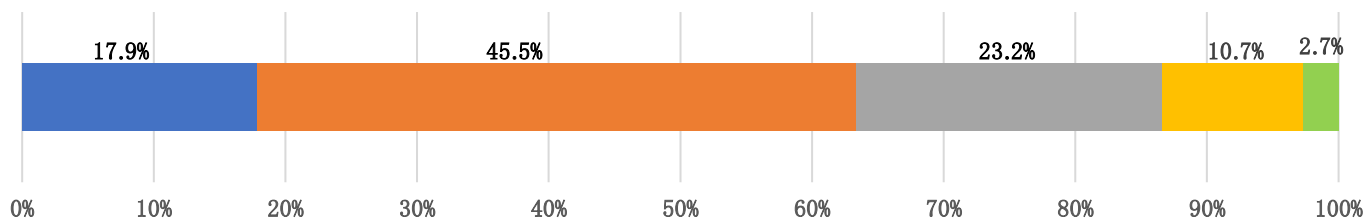
問．獨協医科大学の次にあげる施設・設備に満足できましたか。

■ 非常に満足 ■ やや満足 ■ どちらともいえない ■ やや不満 ■ 非常に不満

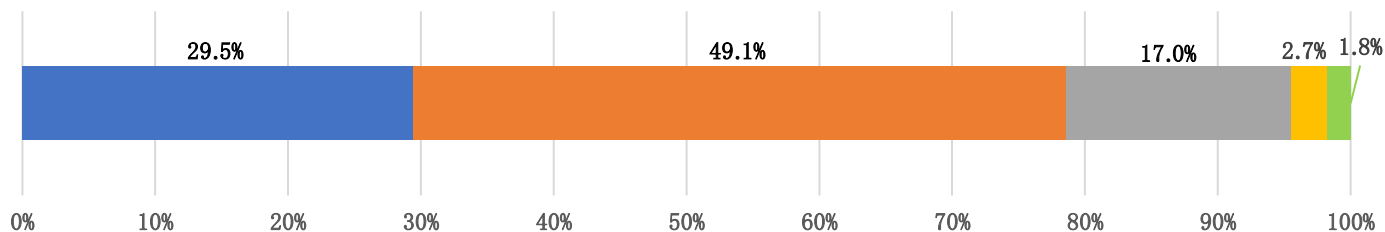
● 講義に係る施設・設備（教室環境・音響・空調など）



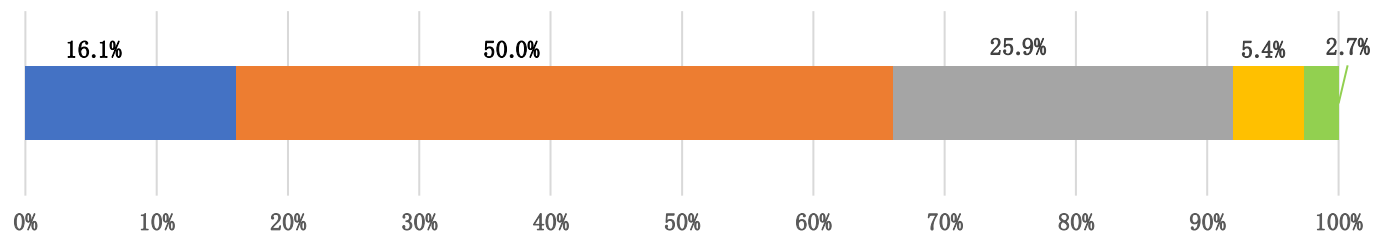
● 基本医学および基礎医学の実習に関わる施設・設備

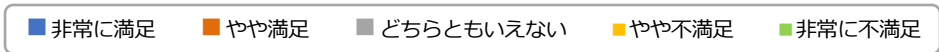


● 臨床実習に係る施設・設備

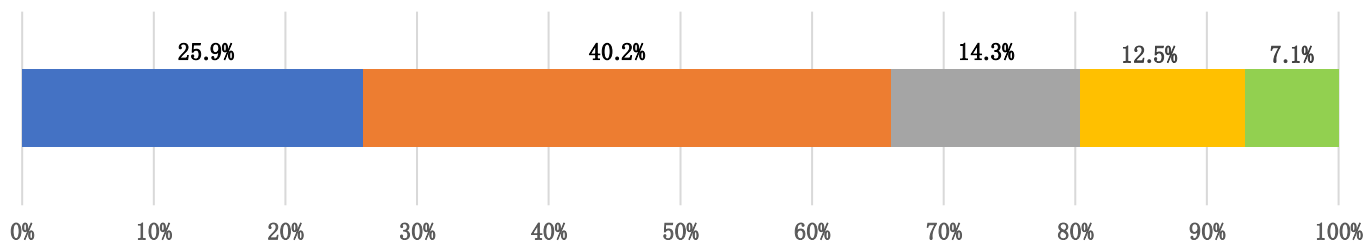


● 研究に係る施設・設備

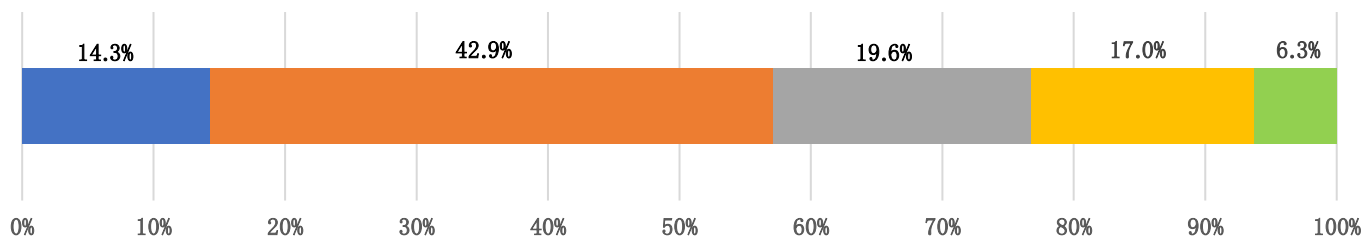




● 図書館・コンピューター室



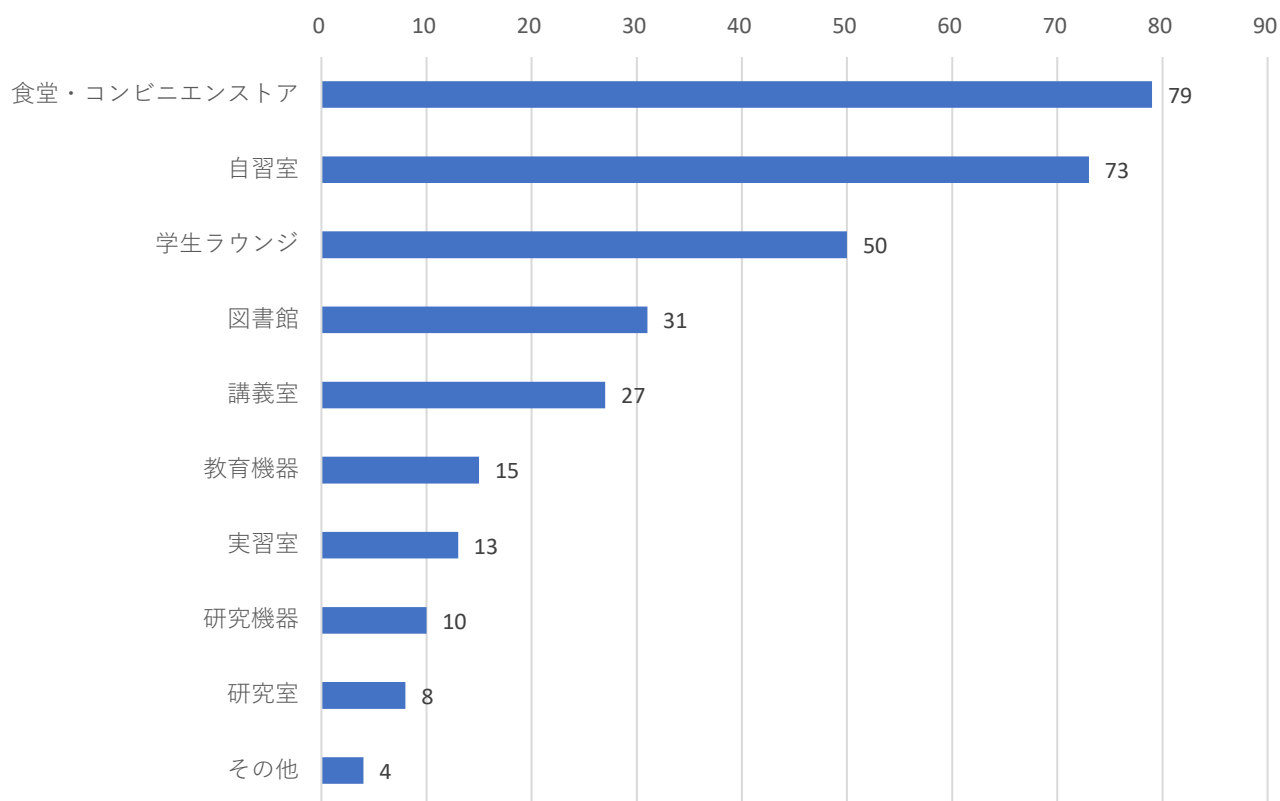
● 学生生活に関わる施設・設備（自習室、学生食堂、体育館、グラウンドなど）



問． 獨協医科大学では、今後、どのような施設を充実させるのが望ましいと思いますか。

あてはまるものを全て選んでください。

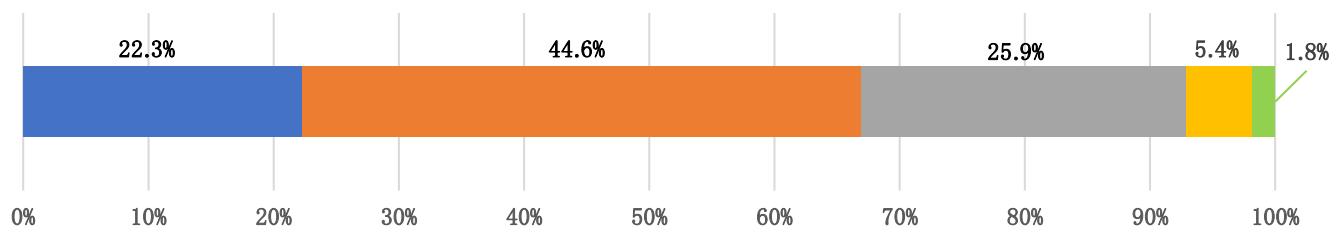
(複数回答可) (人)



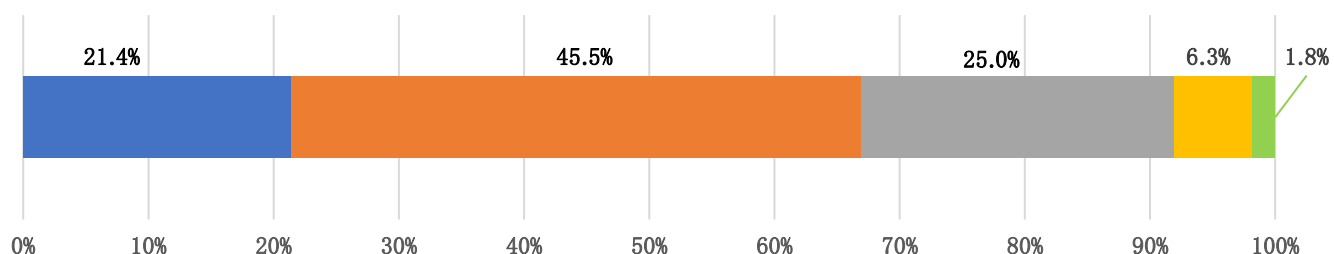
問． 獨協医科大学の次にあげる学生支援について満足できましたか。

■ 非常に満足 ■ やや満足 ■ どちらともいえない ■ やや不満 ■ 非常に不満

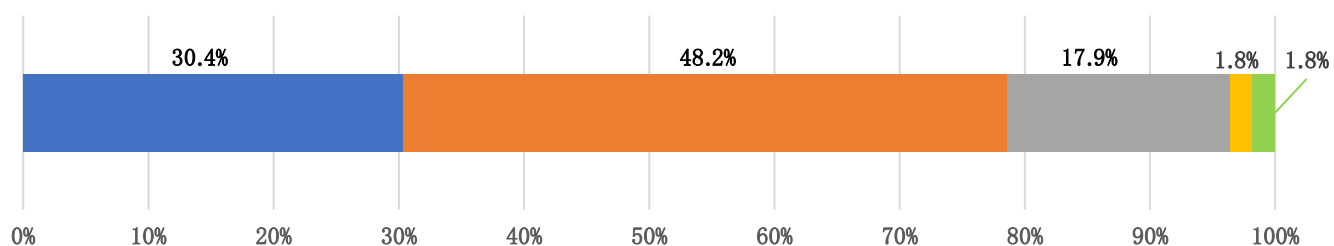
● 担任・副担任のサポート体制



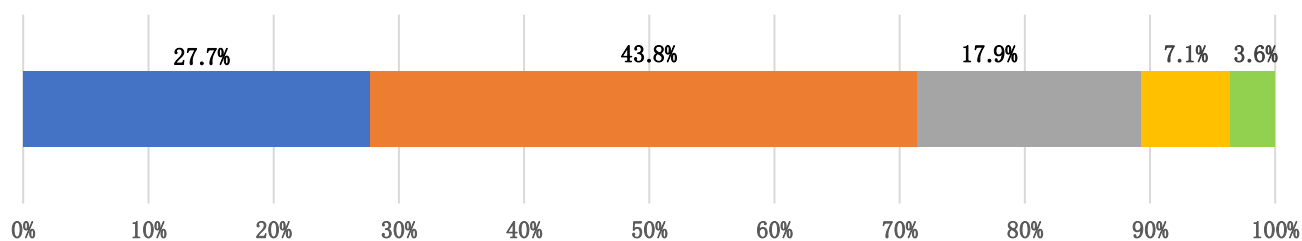
● 科目担当者のサポート体制



● 国家試験のサポート体制



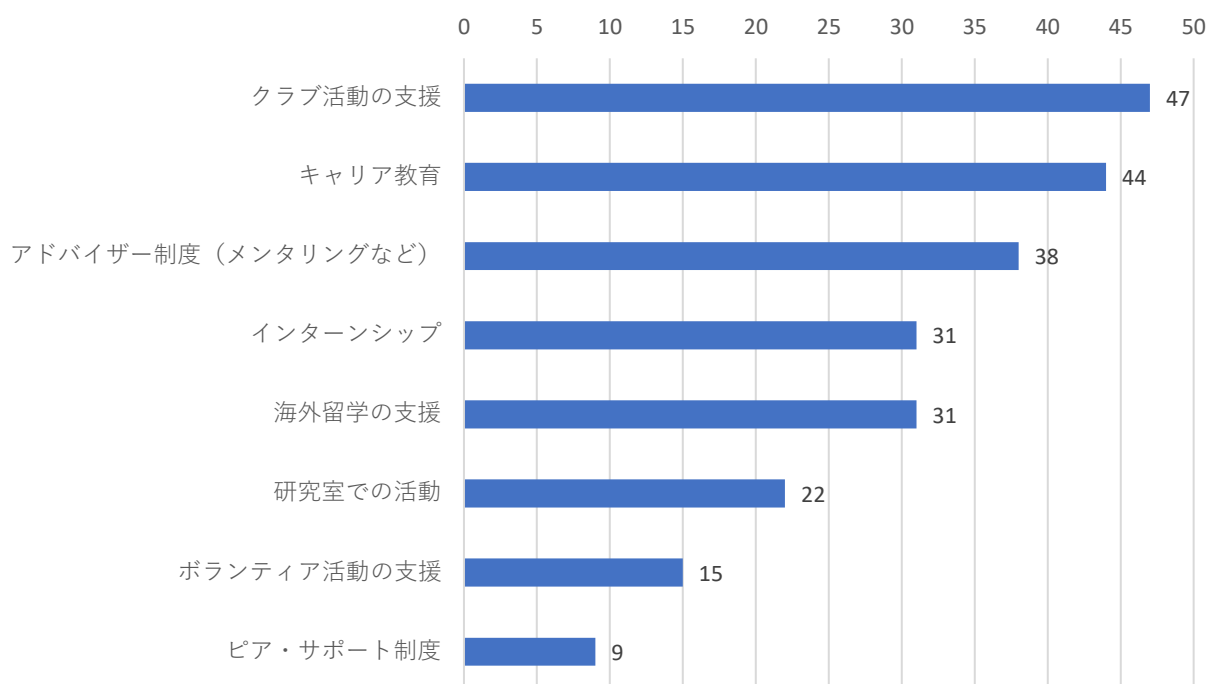
● 事務局（教務課、学生課）の窓口対応



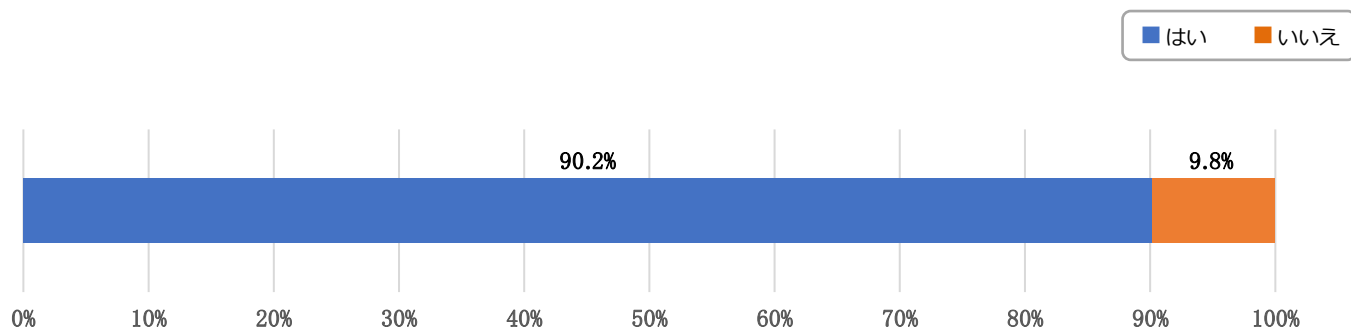
問． 学生生活を通じての人間形成のために、獨協医科大学が何に力を入れるべきですか。

あてはまるものを全て選んでください。

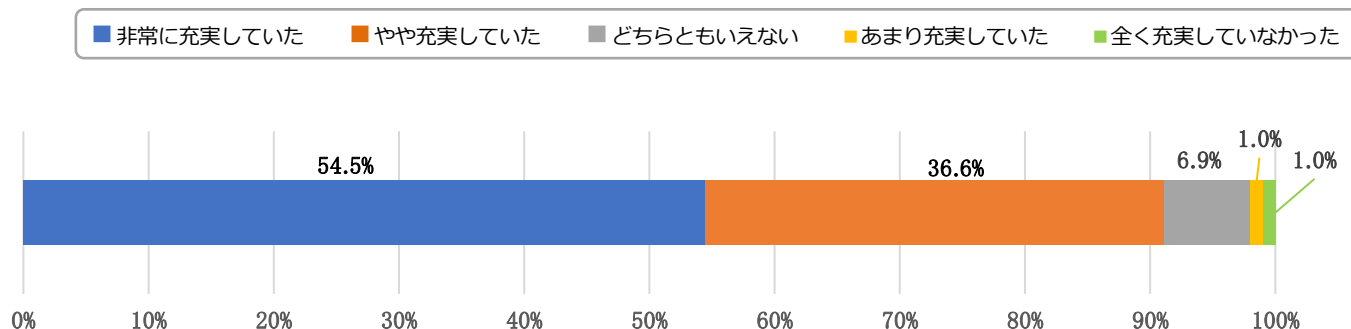
(複数回答可) (人)



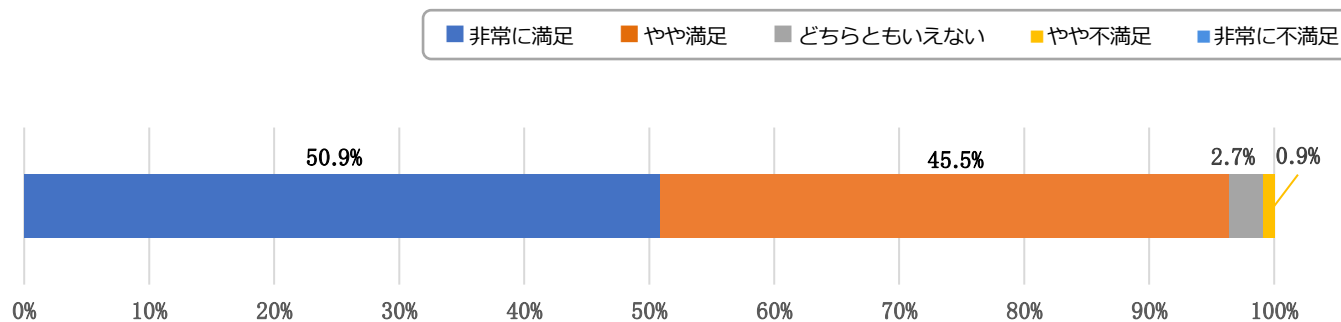
問． 学友委員会や部活、サークルなどの課外活動を行っていましたか。



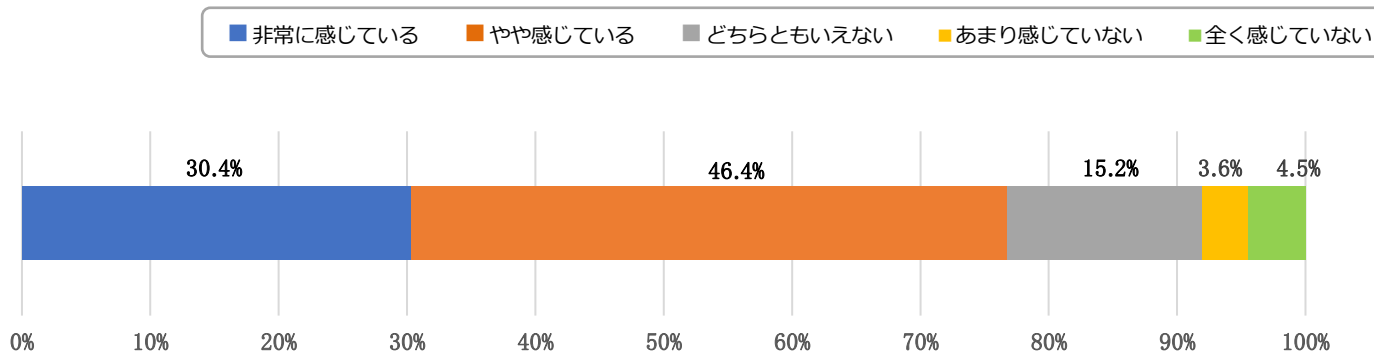
問． 課外活動は充実していましたか。



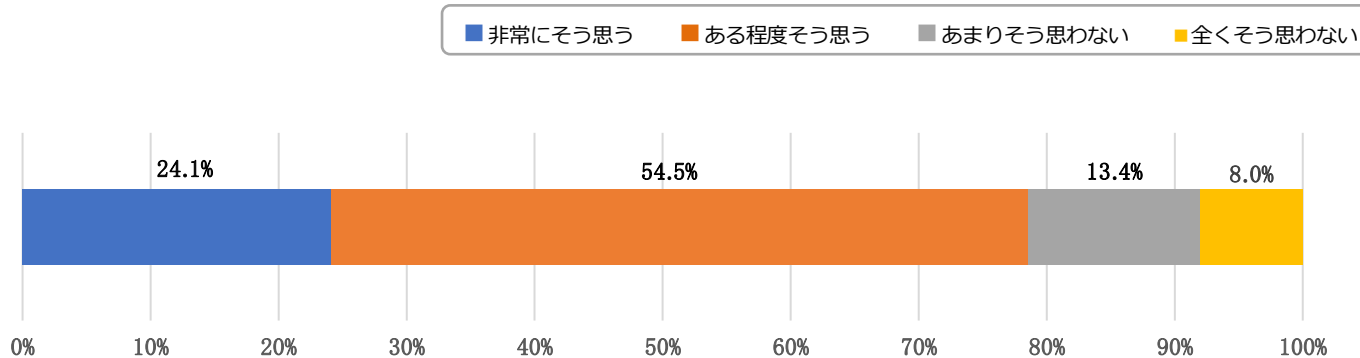
問． 大学生活全般を振り返って満足していますか。



問． 獨協医科大学を卒業することに誇りを感じていますか。



問． 獨協医科大学への受験を知人や将来の自分の子供に薦めたいですか。



獨協医科大学**教学IRセンター**
INSTITUTIONAL RESEARCH CENTER